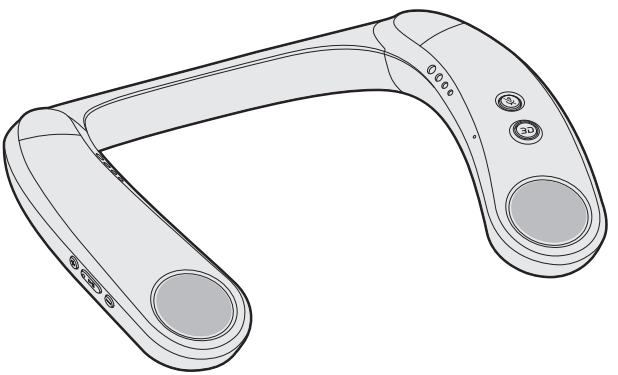
SHARP

取扱説明書 保証書付

サウンドパートナー

形名 **AN-SX8**



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に「安全上のご注意」(→**3**ページ)を必ずお読みください。
- 取扱説明書(本書)の裏表紙が保証書になっています。「かんたん接続ガイド」(別冊)とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 本書を受け取るときは、必ず保証書(裏表紙記載)に「ご購入日、販売店名」が記載されていることを確認してください。

TINSJA396AWN1
23P04-MA-NI

Printed in Malaysia

もくじ

本書に掲載しているイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

ページ

安全上のご注意 …… 3
同梱物 …… 8
各部のなまえ …… 9
　本機のランプ表示について …… 10
本体を充電する …… 11
送信機とテレビを接続する …… 12
テレビの音声を聞く …… 14
パソコンやゲーム機と接続する …… 16
Bluetooth機器を登録する（ペアリング） …… 17
Bluetooth機器と接続し音楽を聞く …… 18
おもな操作について …… 19
　接続モードを切り換える …… 21
ブロードキャストモードについて …… 22
通話のしかた（コール機能） …… 23
音声案内を切りたいとき …… 24
「故障かな？」と思ったら …… 24
対応する音声フォーマットの種類 …… 25
立体音響再生システム「OPSODIS」について …… 26
おもな仕様について …… 27
使用上のご注意 …… 28
商標 …… 29
Bluetooth機能について …… 29
Bluetooth機器について …… 30
保証とアフターサービス …… 31
お客様ご相談窓口のご案内 …… 32
無料修理規定 …… 34
保証書 …… 巻末

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	人が死亡または重症を負う危険が切迫して生じるおそれがある内容を示しています。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味（図記号の一例です）


してはいけないことを表しています。


しなければならないことを表しています。


気をつける必要があることを表しています。

⚠危険


禁止

本機を火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしない

- 火災・感電の原因となります。


禁止

航空機内で使わない

- 電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告


禁止

煙やにおい、音などの異常が発生したら、使用を中止する

・異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理を販売店にご依頼ください。お客様自身による修理は絶対におやめください。


禁止

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス（H_2S、SO_2）が大気中に含まれる温泉地などには設置しない

・火災・感電の原因となることがあります。
・大気中に含まれる硫化ガス（H_2S、SO_2）に長期間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。


禁止

異常に温度が高くなるところには置かない

・特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。


禁止

内部に物や水などを入れない

・本機の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。


禁止

運転中は使用しない

・本機が落下したり、音声により緊急時の音声が聞き取りにくいなど、運転の妨げになり、事故やケガの原因となることがあります。


禁止

本機を破損したときは、使用を中止する

・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。


分解禁止

本機を分解・改造しない

・故障、発熱、火災、感電の原因となります。
・本体を分解してバッテリーを交換しないでください。

⚠警告



注意

保管するときは、水、アルコール、ベンジンなどから離してください。可燃性物質との接触を避けてください

・外装ケースや内部部品が変質したり、劣化し、故障の原因となる場合があります。



禁止

Bluetooth 機能は病院内で使用しない

・医療機器の誤作動の原因となることがあります。



禁止

Bluetooth 機能を使用するときは、心臓ペースメーカー等埋込み型医療機器の装着部位から 22cm 以上離して使用する

・電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠注意



禁止

本機が直接肌に触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

・そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



禁止

通電中の本機に長時間素肌を直接触れない

・長時間直接触れていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

・ 火災・事故の原因となることがあります。



禁止

本機の上に重いものを置かない

・ 外装ケースが変形したり、故障の原因となる場合があります。



禁止

本機を落としたり、投げたり、強いショックを与えない

・本機の破損、故障の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意


禁止

本機に化粧品（香水・クリーム、スプレー等）、クレンジングオイル、日焼け止め剤、虫よけ剤等を付着させない

・本機を痛めるおそれがあります。


禁止

大音量で長時間つづけて聴かない

・耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聴くと、聴力障害を起こすことがあります。


禁止

はじめから音量を上げすぎない

・突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。


禁止

周囲の音が聴こえないと危険な場所では使用しない

・交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では安全に十分注意してください。交通事故の原因となります。


指示

長期間使用しないときも定期的に（6ヶ月に一度以上）充電してください

・充電できなくなる場合があります。

⚠警告

充電池についての安全上のご注意

- **本体ではリチウムイオン充電池を使用しています。**
- **液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。**


指示

充電する時は、付属の USB Type-C® 充電ケーブルを使用する

- 付属のケーブル以外を使用すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になることがあります。
- ほこりが USB Type-C 端子についたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

⚠警告


指示

雷が鳴り出したら、充電を中止し、USB ケーブルを外す

・火災・感電の原因となることがあります。


ぬれ手禁止

ぬれた手で USB ケーブルを抜き差ししない

・感電の原因となることがあります。
・水濡れ状態で USB ケーブルを接続すると故障するおそれがあります。充電をする場合は、水分をしっかりと拭き取り乾燥している状態でご使用ください。


指示

雨などにぬれて水分がついた場合は必ず拭き取る

・水分をしっかりと拭き取り、風通しの良いところで乾燥させてください。


指示

充電池の液がもれたときは素手で触らない

・充電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。


禁止

本体がぬれた状態で充電しない

・水濡れ状態で USB ケーブルを接続すると故障するおそれがあります。充電をする場合は、水分をしっかりと拭き取り乾燥している状態でご使用ください。


禁止

本体を充電中、使用中は布や布団をかぶせない

・可燃物が近くにあると発熱や発火の原因になります。


指示

電池残量がなくなってから廃棄する

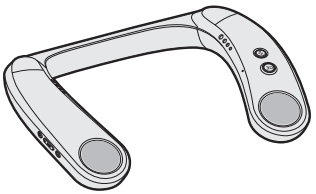
・製品廃棄後に、発熱・発火・破裂を起こす原因となります。
・一般廃棄物の可燃ゴミとして廃棄すると、火災の原因となります。

充電式電池について

・充電池には寿命があります。保管方法、使用状況や環境により、充電池の容量が低下します。使用できる時間が極端に短くなった場合、弊社の相談窓口にご相談ください。

同梱物

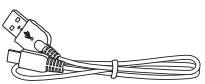
サウンドパートナー本体



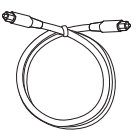
送信機



USB Type-C 充電ケーブル（短）
（サウンドパートナー本体用）

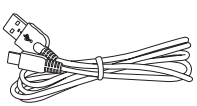


光デジタル音声ケーブル



（使用するときは保護キャップを
必ず取り外してください。）

USB Type-C 給電ケーブル（長）
（送信機用）



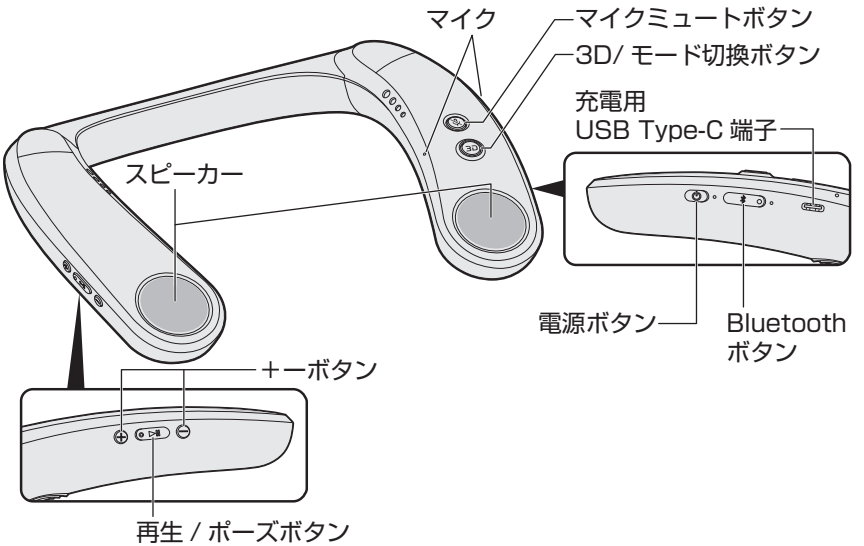
取扱説明書（保証書付）本書
かんたん接続ガイド

※送信機用の AC アダプター、サウンドパートナー本体充電用の AC アダプターは同梱物に含まれておりません。ご使用の際は市販品をご使用ください。（詳しくは→ **11** · **13** ページ）

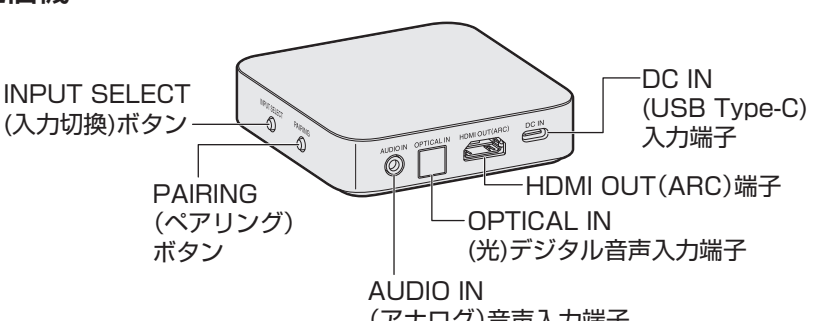
※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manual in Japanese only.

各部のなまえ

サウンドパートナー本体



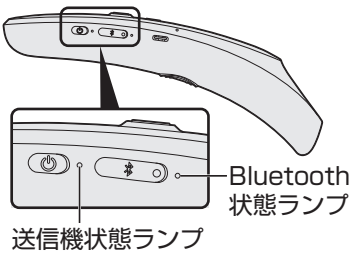
送信機



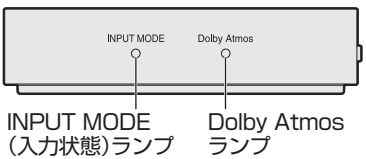
各部のなまえ（つづき）

本機のランプ表示について

本体



送信機



本体　送信機状態ランプ

状態	点滅パターン
電源「切」	消灯
スキャン中	ブロードキャストモードのとき、約 1 秒ごとに 1 回黄点滅します
未接続	約 5 秒ごとに 2 回点滅します（送信機モード:緑、ブロードキャストモード:黄）
接続済み	約 5 秒ごとに 1 回点滅します（送信機モード:緑、ブロードキャストモード:黄）

本体　Bluetooth 状態ランプ

状態	点滅パターン
電源「切」	消灯
バッテリー 状態表示	電源を入れたとき、もしくは電源「入」の時に「⏻（電源）」ボタンを押すとバッテリー状態に応じてランプが 3 回点滅し、残量をお知らせします。 • 青（約 70% 以上充電） • 紫（70% ～ 20% 充電） • 赤（20% 以下充電）
ペアリング中	約 1 秒ごとに 1 回青点滅します
未接続	約 5 秒ごとに 2 回青点滅します
接続済み	約 5 秒ごとに 1 回青点滅します

送信機　INPUT MODE（入力状態）ランプ

状態	点滅パターン
未接続	約 5 秒ごとに 2 回入力モードに従った色で点滅します
接続済み	入力モードに従った色で点灯します
ブロードキャスト中	約 1 秒ごとに入力モードに従った色で点滅します

※ ランプの色は入力モードによって変わります
（光デジタル：紫、HDMI ARC：黄、ヘッドホン：緑、LINE：青、USB：白）

送信機　Dolby Atmos ランプ

• Dolby Atmos の信号が入力されていて、サウンドモードが「Dolby」の時に点灯します。
サウンドモードについては **19**、**20** ページに記載しています。

本体を充電する

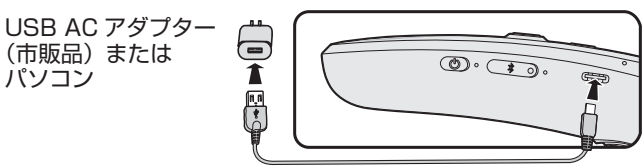
• 本体を充電するときは、付属の USB Type-C 充電ケーブルをご使用ください。
• 本体と USB AC アダプター（市販品）、またはパソコンを接続します。

1 本体に USB Type-C 充電ケーブルを接続する

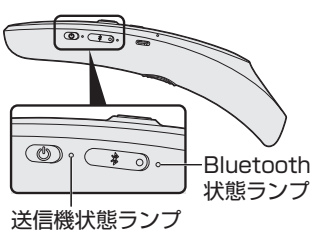
• 端子部に水や汗が付着していないことを確認してください。
• まっすぐ差し込んでください。

2 USB AC アダプター（市販品）またはパソコンの USB 端子に接続する

• 電源が「入」のときは電源が切れます。
• 充電中は本体を使用できません。



充電中のランプ表示



Bluetooth 状態ランプ	赤点滅	紫点滅	青点滅	消灯
充電池状態	20%以下	20%～ 70%	70%以上	満充電

お知らせ

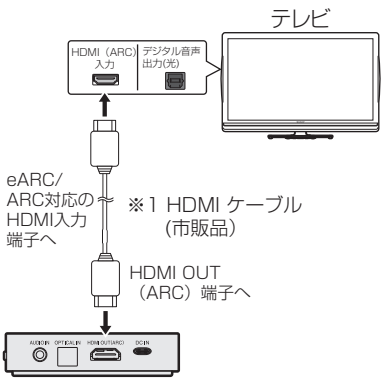
• 電源が「入」の時に「⏻（電源）」ボタンを押すと、現在の電池残量によって音声案内が流れます。
• 内蔵バッテリーの安全上、周囲の温度によっては充電を止める機能が働きます。充電は室温が 5℃以上の環境で行ってください。
• 長時間使用しないときも機能を維持するために 6 か月に 1 度は充電することをお勧めします。
• 電池残量によっては、Bluetooth 状態ランプの点滅が始まるまで時間がかかる場合があります。

送信機とテレビを接続する

接続する前に

・接続するときは、それぞれの機器の電源プラグを抜いてから行ってください。
・ご使用の機器の取扱説明書もよくご覧のうえ、接続してください。

eARC/ARC 機能のある HDMI 端子付きテレビと接続



※1 Ultra High Speed または、「with Ethernet」のロゴの入った HDMI ケーブルをご使用ください。

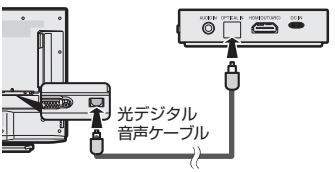
お知らせ

・HDMI 対応テレビに接続できるオーディオ機器は 1 台のみです。テレビにサウンドバーなどのオーディオ機器が既に接続されている場合、送信機との接続にはテレビのデジタル音声出力（光）端子またはヘッドホン端子をご使用ください。既にテレビの HDMI（ARC）端子にオーディオ機器を接続している場合、他の HDMI 端子に送信機を接続しても動作せず、オーディオ機器の動作や、ファミリンクによるオーディオ機器の操作が不安定になります。

HDMI 端子のないテレビと接続

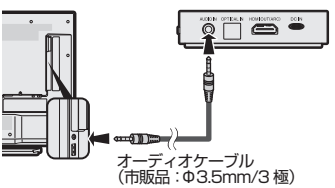
テレビのデジタル音声出力（光）端子またはヘッドホン端子と送信機を音声ケーブルで接続します。音声ケーブルは端子の奥までしっかり挿入してください。

光デジタル音声ケーブルで接続する



- テレビにデジタル音声出力（光）端子がある場合、付属の光デジタル音声ケーブルを使用して送信機と接続します。

オーディオケーブルで接続する

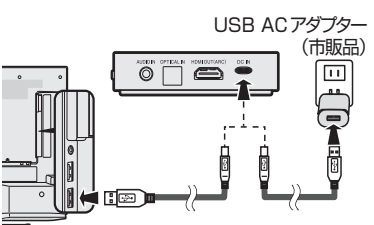


- テレビにデジタル音声出力（光）端子がない場合、市販のオーディオケーブル（Φ3.5mm/3 極）をテレビのヘッドホン端子に接続します。

※ テレビにヘッドホン端子が無い場合は、音声出力端子に接続してください。

送信機に電源を供給する

- 付属の USB Type-C 給電ケーブルを使用し、送信機側の DC IN（USB Type-C 端子）と USB AC アダプタ ー（市販品）または、テレビの USB 端子を接続します。



※テレビの USB 端子に接続したとき、音声にノイズが出る場合は、USB AC アダプター（市販品）をご使用ください。

テレビの音声を聞く

テレビの音声を聞く

1 テレビの電源を入れ、接続している音声ケーブルの入力になるまで、送信機の「INPUT SELECT（入力切換）」ボタンを繰り返し押して入力モードを切り換える

- INPUT MODE（入力状態）ランプ
  光デジタル：紫、HDMI ARC：黄、ヘッドホン：緑、LINE：青、USB：白
- 音声出力端子に接続している場合は、入力モードを「LINE」にしてください。

2 本体の「⏻（電源）」ボタンを約2秒間長押しし、電源を入れる

- 本機はペアリングされた状態で出荷されています。
- 接続されないときは接続モードを送信機モードに変更してください。（→ **21** ページ）
- テレビの音声が本体から聞こえてきます。

ご注意

- 送信機とテレビの USB 端子を USB ケーブルで接続しているとき、送信機の入力モードを「USB」にしないでください。テレビが正しく動作しなくなることがあります。
  詳しくはシャープサポートページをご確認ください。（→ **32** ページ）

HDMI ARC 入力の音声を聞くには

- テレビの音声出力を「外部スピーカー」に設定してください。
- 本体の電源を切るとテレビの音声はテレビから出力されます。再度、本体の電源を入れるとテレビの音声は本機から出力され、テレビから音声は出力されません。
- テレビの音声出力の設定について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

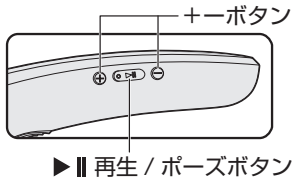
- eARC（エンハンスドオーディオリターンチャンネル）/ARC（オーディオリターンチャンネル）対応アクオスと HDMI ケーブルで接続して音声を聞く場合は、eARC/ARC 対応の HDMI 入力端子と接続し、アクオスの「音声入出力」ー「eARC 設定」を「オート」モードもしくは「ファミリンク設定」ー「ARC 設定」を「自動」モードに設定してください。

音量を調整する

本体の「＋」または「－」ボタンで音量を調整します。

- 音量が最大もしくは最小になると音でお知らせします。

※ボタンを 1 回押すと音量が 1 段階変化します。ゆっくりした間隔で押してください。長押しや連続した早押しでは音量は変わりません。



本機でテレビ音声を聞いているときに音声をミュートする

「▶Ⅱ（再生 / ポーズ）」ボタンを押します

- 押すたびに「音声ミュート」⇔「音声ミュート解除」となります。

お知らせ

シャープ製ファミリンク対応アクオスと接続しているとき

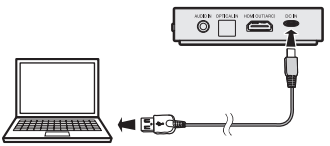
- 本機 / テレビのどちらから音声を出力するかを切り換えることができます。ファミリンクパネルの「スピーカー切換」の設定を「外部スピーカー」に設定すると、本機から音声が出力されます。「TV」に設定したときは、本機から音声は出力されません。アクオスから音声が出力されます。
  なお、「外部スピーカー」に設定すると、送信機の入力は自動的に HDMI ARC に切り換わります。
- また、本機の電源が入っていない場合は、「TV」の設定に切換ります。
- アクオスのリモコンの音量ボタンまたは消音ボタンで、本機の音量または消音を操作できます。このときアクオスに音量または消音の表示がでます。
- ファミリンクパネルの「ジャンル連動」を「する」にしたとき、デジタル放送のジャンル情報に従って本機のサウンドモードが切り換わります。
- 上記以外のファミリンク機能は動作しません。

ヒント

- テレビのヘッドホン端子 / 音声出力端子に音声ケーブルを接続して音声を視聴しているときに、本機の音量を上げてもテレビの音声が小さく聞きづらいときは、テレビのヘッドホン / 音声出力の音量を上げてください。
  －テレビのスピーカーと本機の両方から音声を出したいときはテレビの取扱説明書をご覧ください。両方から音声が出せない商品もあります。
  －音声ケーブルを接続した状態でテレビのスピーカーから音声が出力されない商品の場合、テレビのスピーカーで音声を聞くときは、オーディオケーブルをテレビのヘッドホン端子 / 音声出力端子から抜いてご使用ください。
  －テレビの音量を上げても本機の音が小さかったり、音が歪んで聞こえる場合は、送信機の INPUT MODE（入力状態）ランプの表示色が青色になるまで送信機の「INPUT SELECT（入力切換）」ボタンを繰り返し押し、改善されるかお試しください。

パソコンやゲーム機と接続する

USB オーディオに対応したパソコンやゲーム機と送信機を USB 接続すると、本機で音声を聞いたり、会話することができます。



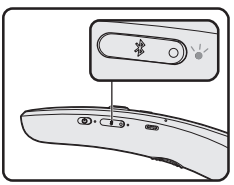
- 送信機の INPUT MODE（入力状態）ランプの表示が白色になるまで送信機の「INPUT SELECT（入力切換）」ボタンを押してください。
- パソコンやゲーム機の設定で音声の出力やマイクの設定を USB「SHARP AN-WD4」に設定してください。パソコンやゲーム機によっては音声が出せない商品もあります。

- 通話やチャット中に本体の「🎤（マイクミュート）」ボタンを押すとマイクがオフになります。もう一度押すと、マイクがオンになります。

Bluetooth 機器を登録する（ペアリング）

Bluetooth 機器を登録（ペアリング）する

1 接続モードを Bluetooth モードに変更したあと（→ 21 ページ）、「ᛒ(Bluetooth)」ボタンを約 2秒間長押しする



- ペアリング状態になり Bluetooth 状態ランプが約 1 秒ごとに 1 回青点滅します。
- 本体に Bluetooth 機器が登録されていない場合は自動的にペアリング状態になります。

2 Bluetooth 機器で本体と接続する



- Bluetooth 機器に表示される「検出した機器の一覧」に「AN-SX8 SHARP」と表示されますので選択します。（Bluetooth 機器の接続操作について詳しくは、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。）
- ペアリングするときは、本体と Bluetooth 機器の距離を約 1m 以内に近づけてください。
- ペアリングが完了すると音声でお知らせします。

お知らせ

- 本体は、最大 10 台までペアリング情報を登録できます。10 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングを行うと、最初にペアリングを行った Bluetooth 機器の情報が削除されます。ペアリング情報が削除された機器で再度音声を聞く場合は、ペアリングをやり直してください。
- 一度ペアリングした機器が接続できないときは、ペアリングする機器と近づけて再度ペアリング操作を行ってください。
- ペアリングした機器が複数ある場合は、最後に接続した機器が接続されます。それ以外の機器と接続したいときは、接続したい機器以外の Bluetooth をオフにしてください。
- Bluetooth 機器のセキュリティー機能により、機器によってはペアリングできない場合があります。

マルチポイント接続をする

- 本体は Bluetooth 機器を 2 台まで同時接続するマルチポイント接続に対応しています。たとえば、1 台目の Bluetooth 機器の音を聞いているときに、再生を一時停止し、2 台目の Bluetooth 機器を再生すると接続が切り換わります。
- Bluetooth モードの時に「ᛒ (Bluetooth)」ボタンと「+」ボタンを同時に 5 秒押してください。（マルチポイント接続を無効にしたい場合は同じ操作をしてください。）

Bluetooth 機器と接続し音楽を聞く

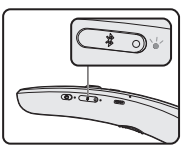
Bluetooth 機器と接続するとき、下記についてご確認ください。

- 接続する機器の Bluetooth 機能が ON になっている。
- 本体とペアリングが完了している。
- 本体より 10m 以内の場所で操作している。
- 本体が Bluetooth モードになっている。

Bluetooth 機器を接続する

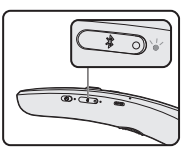
1 本体の電源を入れる

- 接続モードになり Bluetooth 状態ランプが約5秒ごとに 2 回青点滅します。



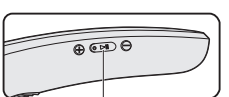
2 接続が完了

- 接続が完了すると Bluetooth 状態ランプが約 5 秒ごとに 1 回青点滅します。



3 再生する

- Bluetooth 機器と接続したときは「▶Ⅱ（再生 / ポーズ」ボタンを押します。



▶Ⅱ 再生 / ポーズボタン

音量を調整する

本体の「+」または「−」ボタンで音量を調整します。

- 音量が最大もしくは最小になると音でお知らせします。
  ※ボタンを 1 回押すと音量が 1 段階変化します。ゆっくりした間隔で押してください。長押しや連続した早押しでは音量は変わりません。
- 音量を最大にしても音量が小さいときは、機器側の音量を上げて調整してください。

曲を頭出しする

曲の頭出しは「+」または「−」ボタンを約 2 秒間長押しします。

- 「−」ボタンを約 2 秒間長押しすると、前の曲を頭出しします。
- 「+」ボタンを約 2 秒間長押しすると、次の曲を頭出しします。

おもな操作について

機能	操作ボタン
テレビ音声を消音する 再生 / 一時停止する	「▶II（再生 / ポーズ）」ボタンを押します。
音量を調整する	「＋」または「－」ボタンを押します。 • 音量はテレビ音声を聞いているときや、Bluetooth 機器の再生時に調整できます。
前の曲を頭出しする	「－」ボタンを約 2 秒間長押しします。
次の曲を頭出しする	「＋」ボタンを約 2 秒間長押しします。
サウンドモードを切り換える	「3D（3D/ モード切換）」ボタンを押すと現在のサウンドモードを音でお知らせします。一度「3D（3D/ モード切換）」ボタンを押してから 5 秒以内に再度「3D（3D/ モード切換）」ボタンを押すとサウンドモードが切り換わります。 • ダイレクト→ OPSODIS1 → OPSODIS2 → Dolby → クリアボイス→ダイレクト→・・・ •「OPSODIS1」、「OPSODIS2」、「Dolby」は本体と送信機が接続している状態で送信機の入力モードが「HDMI ARC」、「光デジタル」のときに切り換えることができます。 • 各モードの説明は **20** ページに記載しています。
音声コントロール※を有効にする	「🎙（マイクミュート）」ボタンを約 2 秒間長押しします。モバイル機器の音声コントロール機能にアクセスして、通話したり、音楽を再生したり、天気を尋ねたり、スポーツのスコアを調べたりすることなどができます。 • モバイル機器が対応していないときはこの機能は働きません。
接続する機器を切り換える	「ᛒ（Bluetooth）」ボタンと「▶II（再生 / ポーズ）」ボタンを同時に約 2 秒間長押しします。 • 接続されていた機器との接続が解除されますので、切り換えたい機器とペアリングまたは接続してください。

※音声コントロール機能は、Google アシスタント / Siri に対応しています。それ以外のアプリケーションには対応していません。

お知らせ

• Bluetooth 機器によっては再生操作が制限されるなど、上記の操作ができない場合があります。

おもな操作について（つづき）

サウンドモードについて

音声信号のチャンネル数（モノラル、ステレオ、マルチチャンネル）に関わらず、立体的な音声を楽しむことや人の声を聞き取りやすくすることができます。

サウンドモード	特長	入力モード			
		光デジタル	HDMI ARC	ヘッドホン／LINE	USB
ダイレクト	入力された音声を、そのまま出力します。	○	○	○	○
OPSODIS1	野外で視聴しているような横方向に広がった臨場感のある音声にします。	○	○	×	×
OPSODIS2	ホールで視聴しているような高さ方向に広がった臨場感のある音声にします。	○	○	×	×
Dolby	サラウンドとハイトスピーカーチャンネル音声を加え、包み込まれるような臨場感のある音声にします。	○	○	×	×
クリアボイス	人物の声やニュースなどを聞き取りやすい音声にします。	○	○	○	○

○：有効、×：無効

※Bluetooth 機器と接続している場合は、「ダイレクト」と「クリアボイス」のみ有効です。

※送信機の入力モードや受信機の接続モードの切り換えるとサウンドモードは「ダイレクト」になります。

小さな音を聞きやすくする（DRC 機能）

テレビの音声信号のダイナミックレンジ（最大音量から最小音量の幅）を圧縮して、小さな音を聞きとりやすくします。

1 「▶Ⅱ（再生 / ポーズ）」ボタンと「＋」ボタンを約 5 秒押します。

DRC ON　：セリフが聞こえやすいダイナミックレンジで再生します。
DRC AUTO：レコーディングエンジニアが意図したダイナミックレンジで再生します。
DRC OFF　：DRC 機能を「切」にします。

お知らせ

・DRC 機能は Dolby フォーマットの音声が入力されたときに働く機能です。

音声を切り換えるには

テレビの音声多重放送を見ているとき、主音声と副音声を切り換えることができます。

・「▶II（再生 / ポーズ）」ボタンと「ー」ボタンを同時に約 2 秒長押しします。

お知らせ

- テレビの音声出力を「ビットストリーム」に設定しているときは、本機で音声を切り換えられます。また、ファミリンク機能対応のアクオスとお使いの場合、テレビのリモコンの「音声切換」ボタンで音声を切り換えることができます。
- テレビの音声出力を「PCM」に設定しているときは、テレビのリモコンで音声を切り換えてください。
- マルチ音声番組の音声は、本機では切り換えることはできません。テレビのリモコンで音声を切り換えてください。

接続モードを切り換える

本体の接続先を付属の送信機か Bluetooth 機器かに切り換えることができます。
現在の接続モードは本体のランプで確認することができます。

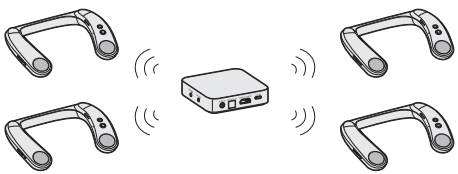
送信機モード：送信機状態ランプが緑点滅
Bluetooth モード：Bluetooth 状態ランプが青点滅

「ᛒ（Bluetooth）」ボタンを押すと接続モードを切り換えることができます。
モードが切り換わると音声案内が流れます。

- 送信機と Bluetooth 機器を同時に接続することはできません。接続モードを切り換えると、その時接続していた機器は切断されます。
- Bluetooth モードに切り換えた時は最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。
- 送信機モードでは、同梱の送信機以外と接続することはできません。別の送信機と接続したい場合はブロードキャストモード（→ **22** ページ）を使用してください。
- ブロードキャストモード中は接続モードを切り換えることができません。ブロードキャストモードを解除してから接続モードを切り換えてください。
- 接続モードは電源を切っても保持されています。次回電源を入れたときは、最後に設定した接続モードで動作します。

ブロードキャストモードについて

本機は LE Audio のブロードキャスト機能に対応しています。
ブロードキャスト機能を使用することで付属の送信機に複数台の本体を接続することができます。



ブロードキャストの接続方法

1 送信機の「INPUT SELECT（入力切換）」ボタンを約 10 秒間長押しして送信機をブロードキャストモードにします。

- もう 1 度「INPUT SELECT（入力切換）」ボタンを約 10 秒長押しするとブロードキャストモードを解除します。

2 本体の「ᛒ（Bluetooth）」ボタンと「3D（3D/ モード切換）」ボタンを約 2 秒間長押ししてブロードキャストモードにすると、1 でブロードキャストモードにした送信機と接続します。

- 本体の「ᛒ（Bluetooth）」ボタンを押すとブロードキャストモードを解除して、送信機モードになります。

3 2 台目以降の接続も、2 と同様の手順で本体をブロードキャストモードにすることで接続できます。

4 送信機の「PAIRING（ペアリング）」ボタンを押すと、接続の追加を停止することができます。

- さらに追加する場合は、送信機の USB 電源を抜き差しし、再度本機の接続を行ってください。

お知らせ

- 本モード中に設定できるサウンドモードは「ダイレクト」と「クリアボイス」のみです。
- 本モード中は AQUOS と接続した時のジャンル連動機能を使用できません。
- 本モード中はマイク機能を使用できません。
- 本モードは電源を切っても保持されます。次回電源を入れたときはブロードキャストモードで動作します。
- 近くにブロードキャストモードの送信機が複数台あると、うまく接続できない場合があります。送信機同士の距離を離すか、接続したい送信機のみをブロードキャストモードにしてください。
- 送信機からの信号は暗号化されていません。送信機の信号を受信できる範囲内であれば、誰でも受信できます。ご使用の際は傍受にご注意ください。

通話のしかた（コール機能）

スマートフォンなどモバイル機器と Bluetooth 接続されているときに、電話を受けることができます。

電話を受ける・切る

- 着信を受けたら「▶‖（再生 / ポーズ）」ボタンを押します。
- 通話を終了するときは「▶‖（再生 / ポーズ）」ボタンを押します。

おもなコール操作について

機能	操作ボタン
着信応答	「▶‖（再生 / ポーズ）」ボタンを押します。
通話終了	「▶‖（再生 / ポーズ）」ボタンを押します。
スマートフォンに音声を切り換える	「3D（3D/ モード切換）」ボタンと「+」ボタンを同時に約 2 秒間長押しします。 • 再度「3D（3D/ モード切換）」ボタンと「+」ボタンを同時に約 2 秒間長押しすると本体に音声が切り換わります。
マイクをミュートにする	「🎤（マイクミュート）」ボタンを押します。
マイクミュートを解除する	「🎤（マイクミュート）」ボタンを押します。
着信コールを拒否する	「▶‖（再生 / ポーズ）」ボタンを約 2 秒間長押しします。

お知らせ

- スマートフォンなどモバイル機器が対応していないコール機能は働きません。
- 送信機の入力モードが「USB」のときは一部のコール操作ができません。

送信機モードでテレビの音声を聞いている時に電話を受ける

スマートフォンなどの Bluetooth 機器が本体と接続されている場合、Bluetooth モードに切り換えることで電話を受けることができます。

- 「ᛒ（Bluetooth）」ボタンを押すことで Bluetooth 機器に接続します。
- 複数の Bluetooth 機器が本体とペアリング済みの場合、最後に接続した機器に接続します。
- Bluetooth モードに切り換えて通話ができるようになるまで数秒かかる場合があります。

音声案内を切りたいとき

機能	操作ボタン
音声案内を切る	•「▶II（再生 / ポーズ）」ボタンと「3D（3D/ モード切換）」ボタンを同時に約 5 秒間長押しします。 音声案内の ON/OFF が切り換わります。

「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなときに	ここをお確かめください
音が出ない	• 本体または接続機器の音量を上げてください。 • 音声ケーブルは奥まで確実に挿入されていますか。 • 送信機の入力モードは正しく設定していますか。 • Bluetooth 機器の音量が「0」になっていませんか。 • 接続機器の電源は入っていますか。 • 接続機器が本機と正しく接続されていますか。 •「HDMI ARC」入力時、接続しているテレビ側のスピーカー設定が外部スピーカーになっていますか。 • 別の Bluetooth 機器をペアリングして、使用したい機器のペアリング情報が削除されていませんか。ペアリングをやり直してください。 • 本体と接続機器との距離が遠すぎませんか。 • 接続機器の Bluetooth 設定が「切」になっていませんか。 • 本体の接続モードは正しく設定していますか。
送信機と接続できない	• 送信機に電源が供給されていますか。 • 本体の送信機状態ランプの色が緑点滅になっていますか。 • 送信機だけがブロードキャストモードになっていませんか。その場合は、送信機に電源が入っている状態で「INPUT SELECT(入力切換)」ボタンを 10 秒程度押して送信機モードにしてください。
本体の片側からしか音が出ない	• 音声ケーブルが正しく挿入されていない可能性があります。送信機およびテレビの端子にケーブルのプラグを奥まで挿入してください。 • オーディオケーブルは市販のΦ 3.5 mm / 3極タイプを使用していますか。
正常な動作をしなくなった	• 本機の電源を一度切って再度電源を入れ直してください。 • 本体の電源操作ができなくなってしまったときは、本体の「⏻（電源）」ボタンを約 10 秒間長押しして再起動してください。
電源が入らない	• 電池残量が少なくなっている可能性があります。付属の USB Type-C 充電ケーブルを使用して充電してください。 • 充電しても電源が入らない、またはすぐに電源が切れてしまうときは充電池の消耗が考えられます。

「故障かな？」と思ったら（つづき）

こんなときに	ここをお確かめください
通話時に異常音（ハウリング）がする	• ご使用の室内の条件や、通話相手との距離が近すぎると発生することがあります。本体の音量を下げるか、通話相手と少し離れた場所でお使いください。
音が途切れたり、歪む	• 本機の近くでラジオ受信機やトランシーバー、防災無線機などの無線機器を使用していませんか。 • 本体と接続機器との間に障害物がありませんか。 • 音が歪む場合は、音量が上がりすぎていませんか。音量を下げてください。
勝手に電源が切れる	• 本体からしばらく音が出ていない場合には自動的に電源オフします。 • 電池残量が少なくなると自動的に電源が切れます。付属のUSB Type-C 充電ケーブルを使用して充電してください。 • 電池残量が少ない状態で大音量で再生している場合に電源がシャットダウンする場合があります。 • 使用している環境の温度が高い場合、安全のために電源を切る機能が働きます。使用温度範囲内で使用してください。

初期化したいとき

- 本体になにも機器を接続していない状態で、「ᛒ（Bluetooth）」ボタンと「ー」ボタンを同時に約 5 秒間長押ししてください。
- 送信機に何も機器を接続していない状態で、「PAIRING（ペアリング）」ボタンを約 10 秒間長押ししてください。

※初期化後に、本体ならびに送信機の電源を入れると自動で本体と送信機はペアリングされます。

対応する音声フォーマットの種類

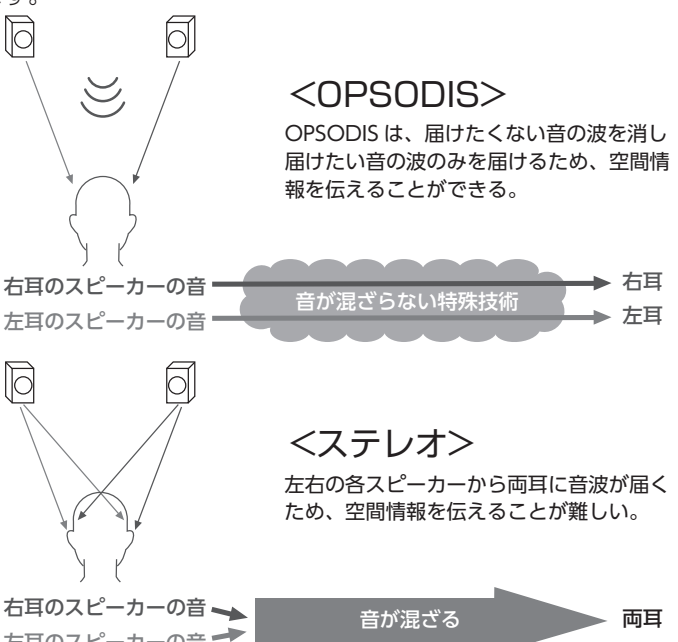
Dolby Atmos	BD などに採用されている Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD の音声フォーマットのオプションで、リスナーの上方に音場を導入した、より立体的な音場を実現する技術です。
Dolby TrueHD	Dolby Digital Plus と比べてより高音質で多チャンネルに対応した音声圧縮技術です。原音と同じ音質で音声を再生できます。
Dolby Digital Plus	Dolby Digital と比べてより高音質で多チャンネルに対応した音声圧縮技術です。
Dolby Digital	DVD などに採用されている多チャンネルに対応した音声圧縮技術です。
MPEG-2 AAC	地上デジタル放送 /BS デジタル放送などで採用されている音声圧縮方式の一つです。
MPEG-4 AAC	BS4K/8K 放送で採用されている音声圧縮方式の一つです。
PCM	CD や DVD などに採用されている音声などを数値に変換してデジタルデータにする方法の 1 つです。

立体音響再生システム「OPSODIS」について

左右のスピーカーのみで、音を全方位に届け、まるでその場にいるかのような、没入感と臨場感を体験できます。

OPSODIS（ オプソーディス）の原理

人は、耳で感じ取った音から、方向や距離などの空間情報を読み取ることができます。
しかし、通常のステレオ再生では、左右のスピーカーからの音が両耳までの空間で混ざってしまうため、空間情報を得ることが困難です。
OPSODIS では、独自のアルゴリズムにより、スピーカーの音を混ぜずに両耳に届けることができるため、左右のスピーカーだけで、音の空間情報を明確に再現します。



OPSODIS は、音楽ホールやスタジオ等の建築音響分野で豊富な実績を持つ鹿島建設（株）技術研究所と、音響技術分野で世界的に有名な英国サウサンプトン大学音響振動研究所が共同開発した立体音響再生技術です。
音楽ホールやスタジオなどの音響性能を設計段階で視聴して確認するために開発した技術をサウンドパートナーに搭載しました。

おもな仕様について

品名	サウンドパートナー
形名	AN-SX8
音楽再生時間	約 16 時間※ 1
充電池充電時間	約 3 時間 30 分 ※ 1
寸法	227mm（幅）× 181mm（奥行）× 46mm（高さ）
質量	約 260g
端子	USB Type-C 端子
使用周波数帯域	2.402GHz − 2.480GHz
通信方式	Bluetooth 5.3（HSP / HFP / A2DP / AVRCP/ TMAP）
送信出力	Class1 (直線見通し通信距離：約 10m) ※ 2
著作権保護	SCMS-T
対応コーデック	SBC/AAC/LC3
使用温度範囲	0℃～ 40℃
充電時温度範囲	5℃～ 40℃

品名	送信機
形名	AN-WD4
寸法	90mm（幅）× 90mm（奥行）× 21.5mm（高さ）
質量	約 85g
端子	USB Type-C 端子、光デジタル音声入力端子、アナログ音声入力端子（3 極 φ 3.5mm）、HDMI 端子
送信出力	Class1 (直線見通し通信距離：約 10m) ※ 2
使用周波数帯域	2.402GHz − 2.480GHz
通信方式	Bluetooth 5.3（TMAP）
対応コーデック	LC3
使用温度範囲	0℃～ 40℃

※ 1 ・音楽再生時間や充電時間は、使用条件や周囲の環境により変わります。
・繰り返しご使用になりますと電池持続時間が徐々に短くなります。
※ 2 ・通信距離は目安です。周囲の環境により通信距離が変わる場合があります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

使用上のご注意

お手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。化学雑巾（シートタイプのウェット・ドライのものも含め）をご使用になられますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 汚れがひどいとき、大量の汗などで湿ったときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。

ご注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものや化粧品（香水・クリーム・スプレー等）、クレンジングオイル、日焼け止め剤、虫よけ剤等を付着させないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。



- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談窓口まで、ご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

他機器からの影響

次の場所で使用すると電波干渉が発生し、通信範囲が短くなったり、通信速度の低下、雑音や接続不能が発生する場合があります。

- Bluetooth 機器、無線 LAN 機器（IEEE802.11b/g/n）など、本機と同じ周波数帯（2.4GHz）を利用する無線通信機器の近辺
- 使用中の電子レンジの周辺やその他電磁波が発生している場所
- 接続機器との間に人体や金属、壁などの障害物がある場合

他機器への影響

本機が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

商標

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos 及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。非公開機密著作物。著作権 2012 – 2021 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- Opsodis is a Trade Mark used under license by Opsodis Ltd.
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。シャープ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- USB Type-C® と USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。
- Google は Google LLC の商標です。
- Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ®、™ マークは明記していません。

Bluetooth 機能について

対応 Bluetooth プロファイル

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：
  高音質なステレオ音声を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）：
  音量の大小、再生の操作をするためのプロファイルです。
- HFP（Hands-Free Profile）：
  ハンズフリーで通話するためのプロファイルです。
- HSP（Head Set Profile）：
  ヘッドセット / 携帯電話と通信するためのプロファイルです。
- TMAP（Telephony and Media Audio Profile ）：
  LE Audio の通信や音声伝送をするためのプロファイルです。

ご注意

- Bluetooth 機能を使うには、相手側 Bluetooth 機器が本体と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本体側での再生がわずかに遅れます。

Bluetooth 機器について

ご注意

- 本機は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本体と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本体と接続する Bluetooth 機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- Bluetooth の接続が完了する前に本体、または Bluetooth 機器の電源を切るとペアリングが完了せず、ペアリングに関する情報は記憶されません。はじめからペアリングをやり直してください。
- 本体は、最大 10 台までペアリング情報を登録できます。新たな機器とペアリングを行うと最初にペアリングを行った機器の情報が削除されます。ペアリング情報が削除された機器で再度音声を聞く場合は、ペアリングをやり直してください。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

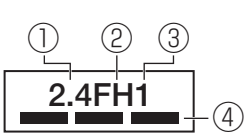
周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2.402 GHz から 2.480 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3.不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様相談窓口までお問い合わせください。



①使用周波数帯域	2.4GHz
②変調方式	FHSS 方式
③想定干渉距離	10m以下
④周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

保証とアフターサービス

保証書（巻末）

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から 1 年間です。
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
  持込修理の対象商品をメーカーへ直接送付した場合の送料や出張修理を依頼された場合の出張料などは、保証期間内、保証期間外にかかわらずお客様のご負担となります。

使い方や修理のご相談など

- 修理や廃棄に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（→ **32** ページ）

修理を依頼されるときは【持込修理】

- 「故障かな？と思ったら」（→ **24** ページ）を調べてください。
- SHARP オンラインサポートページの「Q&A よくあるご質問」でも確認できます。

SHARP オンラインサポート：
https://jp.sharp/support/

- それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源を切ってから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 修理のご依頼は、保証書（本書）を添えてお買いあげの販売店にご持参ください。

COCORO MEMBERS

「製品登録」をお願いします。

COCORO MEMBERS は、シャープ製品／COCORO+ サービスをご利用のお客様向けのシャープの会員サービスです。「MY家電登録」「MY家電サポート」や、限定イベント、キャンペーンなどを実施しています。

https://cocoromembers.jp.sharp/m/

ココロメンバーズ　検索

入会特典

●家電製品を WEB でまとめて管理できる！
●登録製品に関する消耗品、取扱説明書などサポート情報へ簡単アクセス！
●抽選で当社製品などが当たる「わくわくポイント」を進呈！
●自動回答に加え、会員限定でオペレーターとチャットで相談ができる。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にアクセスしてください。

【会員サービス】「COCORO MEMBERS」入会で製品情報を上手に活用

「COCORO　MEMBERS」でご愛用製品を「MY家電登録」いただくと、別売品やお手入れ方法などサポート情報が手軽にご利用いただけます。COCORO MEMBERSのサイトから修理のお申込みをされる場合、お客様情報や製品情報を入力する手間が省けます。

https://jp.sharp/support/sp/cocoro/cocoro.html

COCORO MEMBERS
MY 家電登録はこちら

いつでも便利なWebサービス　【シャープ オンラインサポート】

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

オンラインサポート トップページ

https://jp.sharp/support/

シャープ　お問い合わせ　検 索

スマートフォンからでもご利用いただけます。

修理のご依頼、進捗確認も24時間サポート

インターネットから修理のお申し込み

https://jp.sharp/support/repair.html

シャープ　修理相談　検 索

スマートフォンからでもご利用いただけます。

■QR コードについて
スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。（読み取れない場合はアドレスを直接入力してください）

■取説に掲載のＱＲコードから誘導されるサイトについてのご注意（QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

- ●当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- ●スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
  アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、弊社は何ら責任を負うものではありません。
- ●弊社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

■ 製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内
（電話オペレーターにはつながりません）
自動音声案内 フリーダイヤル（携帯電話からもご利用いただけます）**0120 - 001 - 252**

使用方法や修理のご相談など【**お客様相談室**】おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間（年末年始を除く）●月曜～土曜: **9:00～18:00** ●日曜・祝日: **9:00～17:00**

固定電話からは、フリーダイヤル
0120 - 001 - 251

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 113

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
050 - 3852 - 5122	**06 - 6792 - 5993**
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。
個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の取扱いの詳細については、
https://jp.sharp/privacy/index-j.html をご参照ください。

Li-ion00

お願い

充電式電池はLi-ion電池を使用しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては、各自治体の廃棄ルールに従っていただくか、弊社お客様ご相談窓口までご相談ください。

無料修理規定

持込修理

保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参のうえ、お買いあげの販売店にご依頼し本書をご提示ください。
本書は、記載内容の範囲で無料修理または製品交換させていただくことをお約束するものです。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居、ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書などの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書に従い無料修理または製品交換いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ）本書のご提示がない場合。
   （ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造など、取扱説明書やそれに類する書面にて弊社が禁止している事項に抵触したことで発生した故障・損傷。
   （ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ）火災･公害･および地震･落雷･突風･風水害･塩害･ガス害（硫化ガス等）その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   （ヘ）一般家庭用以外（例えば業務用に使用、車両船舶に搭載）に使用された場合の故障・損傷。
   （ト）消耗部品（リチウムイオン充電池）の自然消耗､摩耗､劣化等により部品の交換が必要な場合。
   （チ）電池の液漏れによる故障・損傷。
   （リ）持込修理の対象製品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
   （ヌ）お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合（例：ホコリ、錆、カビ、小動物の侵入・糞尿・損傷）
3. 製品の保証期間内であっても、弊社が別途定める当該製品の製造打切り後の補修用性能部品保有期間が満了し、かつ部品が手配できない場合は修理をお引き受けできないことがあります。
4. 製品の状態やその他の事項により、修理に代えて製品交換で対応する場合がありますのでご了承ください。
5. 環境への配慮や修理料金低減のため、修理に際して再生部品･代替部品を使用する場合があります。また、修理後、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理致します。
6. 本書に基づき無料修理（製品交換を含む対応）を行った製品の保証期間は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. お買いあげの製品が故障により使用出来なかったことによる損害については補償致しません。
8. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

メモ

SHARP　AN-SX8 保証書　**持込修理**

シャープ サウンドパートナー

形名 AN-SX8

お客様

ふりがな
お名前　　様

☎

ご住所　〒

取扱販売店名・住所・電話番号

修理メモ

保証期間

お買いあげ日

年　　月　　日より

本体は1年間（付属品は除く）

シャープ株式会社

〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町 1 番地

お問合せ先：お客様ご相談窓口

固定電話からは　0120-001-251

携帯電話からは　0570-550-113

IP 電話などでフリーダイヤルサービス、または
ナビダイヤルサービスがご利用頂けない場合　050-3852-5122